

社団法人 日本経営士会 千葉支部 会報

# EMC 千葉

Ever  
Management  
Consultant  
Chiba

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>  
 支部長 西村 豊 〒275-0022 習志野市香澄5丁目1-17  
 編集 事務局 副支部長 鈴木伸一

平成22年12月6日発行

第86号

真夏の猛暑が嘘のように今年の秋は足速に去っていきこうとしています。木々はすっかり色づき枯葉が舞っています。今年最後の月例研修会と懇親会が行われます。慌ただしい中ですがぜひご参加ください。

## 懇親会のご案内

### ※懇親会開催のおしらせ※

☆今年最後の懇親会です。みなさまにとって 2010 年はどんな年だったのでしょうか、寒さを吹き飛ばし今年一年を振り返り楽しく語り合しましょう。

みなさんの参加をぜひお待ちしております。

日 時：平成 23 年 12 月 18 日(土) 17:00より

場 所：居酒屋 天狗 047-425-1268

船橋市本町4丁目1-15 快美壺番館2階

会 費：3,000円



申込先：別途案内はお送りいたしません。

12月15日までに、鈴木伸一 会員

Tel : 090-5446-2808 Fax : 04-7133-1303まで、最終面の申込書でお申し込みください。(メール shin\_suzuki@nifty.com でも結構です) 多数のご参加をお待ちしております。

## 12月度 研修会ご案内

日 時 平成 22 年 12 月 18 日(土) 15:00～17:00  
場 所 船橋市中央公民館 第3集会室  
テーマ 「研究会活動中間報告」  
講 師 コンサルティング研究会、農業観光研究会

本年最後の月例研修会は、支部のコンサルティング研究会と農業観光研究会の活動報告です。両研究会とも新しい試みを行っております。

コンサルティング研究会では、社長への提言ということで、商工会議所を通じて一般企業に向けて、社長、経営層に向けたセミナーを企画しています。また、農業観光研究会では、農商工支援人材育成セミナーを多数の参加者を迎えて開催し、先日成功裏に最終講習を迎えることができました。

これらの活動の報告や、今後の活動について説明していただきます。ご期待ください。

## イノベーションアワード2010受賞企業のお知らせ

11月12日、六本木ヒルズクラブにおいて、第1回イノベーションアワード2010が開催されました。詳細は本部ホームページ等で公開されていますが、千葉支部推薦の協和工業株式会社殿が経営・技術革新分野の優秀賞を受賞いたしましたので皆様にお知らせいたします。受賞理由は以下の通りです。

**協和工業株式会社殿** 「人員削減を行わず、自社流能力開発で経営危機を回避」

1953年に電気機器製造業として創業。

世界同時不況やグローバル化の影響を受け業績がダウンする中、板谷会長の信念「優れたモノづくりは人づくりから」で、長年培ってきた技術資産を守るために、人員削減は行わず雇用安定助成金を受けながら、徹底した従業員の能力開発を行って経営危機を凌いだ。

能力開発は多能工化というどこにでもある方法だが、同社の特徴は公的資格取得を技術力の裏付けにするため、会社が費用を負担して全従業員に18種、34項目の資格取得を奨励。

2009年4月時点で、従業員98名に対して、総資格取得数が277に上ったことは高く評価できる。

記事ご協力をお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL : 090-5446-2808 FAX : 04-7133-1303

MAIL : shin\_suzuki@nifty.com

# 会議・研究会開催報告

## ■ 支部幹事会

### 第4回支部幹事会

平成22年6月26日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、林 久雄、中嶋清介、千葉道生、藤江隆平、鶴岡義明

1. 理事・支部長合同会議、総会の報告
2. 農商工連携の養成講座について
3. 公開講演会開催方法の検討について
4. 外部向けMPPの講師養成について

### 第5回運営委員会

平成22年7月31日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、林 久雄、大塚亜喜雄、中嶋清介、上條靖芳、鶴岡義明、岩野邦久、藤江隆平

1. 公開講演会開催方法の検討について
2. 第44回全国研究会議への参加促進施策について
3. 支部ホームページ、メーリングリストの検討について
4. その他報告事項

### 第6回運営委員会

平成22年8月28日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、榎田國男、千葉道生、上條靖芳、藤江隆平、鶴岡義明

1. 公開講演会開催方法の検討について
2. 9月以降月例研修会、公開講演会の予定について
3. 千葉支部MPPの実施について
4. その他報告事項

### 第7回運営委員会

平成22年9月25日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、小塚彦明、中嶋清介、岩野邦久、藤江隆平、若月英司、鶴岡義明

1. 全国研のご報告
2. 10月以降月例研修会、公開講演会の予定について
3. 千葉支部MPPの実施について
4. ビジネスイノベーション対象企業選出について

## 第8回運営委員会

平成22年10月30日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、中嶋清介、大塚亜喜雄、林 久雄、榎田國男、千葉道生、  
若月英司、岩野邦久、鶴岡義明

1. 通信員選出の件
2. 本部および支部HPの件
3. 千葉支部MPP実施の件
4. 農商工連携等支援育成セミナー参加者の紹介
5. イノベーションアワード表彰式の件
6. 北関東フォーラム参加者報告

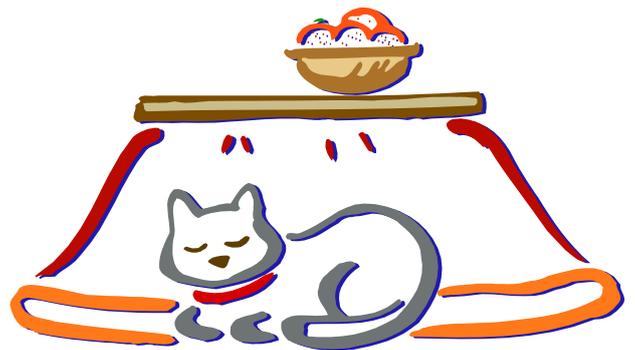
## 第9回運営委員会

平成22年11月27日(土) 13:00~15:00

場 所 柏市 さわやかちば県民プラザ

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、林 久雄、中嶋清介、榎田國男、岩野邦久、藤江隆平、  
鶴岡義明

1. 支部長会議の報告
2. 農商工連携等支援育成セミナー開催報告
3. 運営委員任命の件
4. イノベーションアワード表彰式の件
5. (財)日本ガス機器検査協会への顧客紹介の件



## ■ 月例研修会

### 6 月度月例研修会

平成 22 年 6 月 25 日(土) 15:00~17:00

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ 航空会社の立ち上げとサルティング

講 師 山下恭司 会員 (平成 22 年 3 月入会)

参加者 鶴岡義明、千葉道生、大塚亜喜雄、林 久雄、関 彦次郎、藤江隆平、轟木一三、  
上條靖芳、高野充昭、鈴木伸一、中嶋清介、西村 豊、八代 譲、山田 一

今年 3 月に新たに千葉支部に入会した、山下恭司会員による航空会社勤務時代の体験を通じた航空業界発展の歴史と現状、今後の展望、航空会社立ち上げ等の講演をしてもらいました。

#### 1 航空業界の変遷

- ① 1970 年以前<IATA カルテル時代>：政府の支援のもと、航空会社は無競争で放漫経営ができた。
- ② 1970 年以降<大型機の時代>：300~500 座席の大型機登場により安い運賃の提供が可能となった。
- ③ 1980 年代<デレギュレーションの時代>：米国は『デレグ法』制定による過当競争から航空会社の赤字転落。日本は、路線・運賃・便数の自由化が進む。
- ④ 1990 年代以降<航空自由化の時代>：2008 年リーマンショック後の航空需要減退、人口減少等航空会社を取り巻く環境変化が厳しくなり経営破綻、倒産する航空会社も出てきた。

#### 2 日本を取り巻く外部環境

- ① 航空自由化：2009 年 12 月、日米間の「オープンスカイ政策」締結に伴い、航空会社間の競争が激しくなる。
- ② 格安航空会社の台頭：海外からの格安航空運賃を武器とした企業の台頭がめざましく、日本の企業も従来の経営体質では立ち至らなくなってきた。

#### 3 日本の航空会社の展望

日本はオープンスカイ政策で本格的な「サービス貿易の自由化」を受け入れざるを得ない状況となっている。世界的にまだ弱小といわれる日本の航空会社の対策としてハード面、ソフト面の双方から検討の余地がある。ハード面として<より優れた航空機 (B787) の導入>、ソフト面としては<格安航空会社への導入施策><航空連合との連携効率化><傘下企業グループ統合化によるコスト削減>が挙げられる。

#### 4 航空会社の立ち上げ

- ① フジドリームエアライン：静岡に本社を置く物流関連企業「鈴木」による航空会社立ち上げに関与し、国土交通省の大臣許可を取得するまでの申請手続きを行い、今日の会社経営の基礎作りを行った。
- ② (株) 日本飛行船：全日空時代に培った運航技術のノウハウを生かすべく、(株) 日本飛行船に移り飛行船事業立ち上げを行った。

2 社の新規航空会社立ち上げに寄与できた大きな要因は、山下氏の豊富な運航技術のノウハウによるものが多かったと言える。

#### 5 空港間の連携による航空機受入の効率化と地域経済の発展性

滑走路の利用時間、交通アクセス等個々の空港だけでとらえると自ずと限界がある。関東圏に新たに茨城空港が開設したのを機に、成田ー羽田ー茨城空港の連携によって、より効率的な運営を図ることでアジアのハブ空港といわれる仁川、上海に対抗していくことが考えられる。その可能性の提案を経営士会で検討していく余地は有りそうである。



## 7 月度月例研修会

平成 22 年 7 月 31 日(土) 15:00~17:00

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ 千葉県果樹農業から見た千葉県農業

講 師 北野 聡 氏 (千葉県農林水産部生産販売振興課首都圏マーケティングセンター主査)

参加者 林 久雄、五十嵐 昭平 (東京支部)、鈴木伸一、関 彦次郎、高野光昭、鶴岡義明、大塚亜喜雄、林 堯夫、山下恭司、西村 豊、上條 靖芳、山田 一

千葉支部は昨年、農業・観光研究会を立ち上げ、活動の一つに農商工連携への取組がある。今回、タイミング良く、千葉県農林水産部生産販売振興課首都圏マーケティングセンター主査北野 聡氏を知り月例研修会の講師をお願いしたところお引き受け頂けた。技術職として長年、日本梨栽培の指導を行ってこられた経験から千葉県農業の実態、今後の方向性に関し講演をして頂いたが、以下が要約である。

### 1. 千葉県の農業

温暖な気候と首都圏に位置する好立地、更には生産者の技術力の高さ、意欲を背景に「農業産出額全国第 3 位」を位置する。

### 2. 千葉県の梨栽培

平成 12 年迄、栽培面積は増加傾向にあったものの、その後横ばい状態となる。産出高は、平成 8 年に鳥取県、茨城県を抜き全国第 1 位となった。

### 3. 梨の主な産地

東葛飾郡、印旛郡、千葉郡、長生・夷隅郡の 4 地域が千葉県の梨の主要産地である。

### 4. 梨生産者の取組 (白井市梨業組合を例にして)

①組織体制の見直し、②減農薬化、③老木園対策、④栽培研修の充実、⑤新品種の導入、⑥販売戦略  
これら 6 つの課題を挙げ、各々検討中である。

### 5. 千葉県の農業の課題

#### ①産地と流通とのギャップ

生産者は、流通側の要望に応じた体制を敷いているため日持ちと盆前出荷等を優先し、必ずしも食味を重視した販売となっていない為、消費者の梨離れが懸念される。

#### ②消費者ニーズの把握が出来ていない

梨を通して消費者とどう関係して行くかのマーケティング力、販売に対する理念等の強化が求められる。

## 6. 千葉県の農業の将来性

首都圏の台所を預かる千葉県という好立地を生かすためにも、後継者の育成、生産者の企業経営感覚の要請が求められる。それによって、生産と消費をより近い形で直結されていく可能性を大いに秘めた千葉県の農業といえよう。



## 8 月度月例研修会

8 月度月例研修会は講師都合により中止いたしました。

## 9 月度月例研修会

平成 22 年 9 月 25 日(土) 15:00~17:00

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ 日本は買いか！中国が日本を買う時代

講 師：鈴木伸一 会員

参加者 小塚彦明、逆井 甚一郎、高野光昭、山下恭司、西村 豊、鶴岡義明、山田 一

1980 年初頭、深圳、珠海、廈門（アモイ）、海南島全域が経済特区として経済開放されて以降、中国経済が目覚しく発展を遂げている。わが国では、中国の富裕層、中間富裕層をターゲットとして観光客の増強を図るべくインバンド政策を強化してきている。今月の月例研修会では、中国に精通している鈴木伸一会員に講演をお願いした。講演の要旨は、次のようなものである。

### 1. 中国人富裕層の定義

— 富裕層とは 1000 万元（約 1 億 2500 万円）以上の資産を有する人をいい、中国総人口の約 10% で 1.5 億人がこの階層に入る。

— 中間富裕層とは年収 7500~2 万 5000 米ドル(85~280 万円)の階層で全人口の約 20%、3 億人を占める。

### 2. 中国人が日本の不動産を買い占める要因

— 中国では個人所有の不動産はなく、国からの借用であってマンションは 70 年の使用権となり、個人の所有権ではない。従って、中国から近い日本の近代的な設備のよい不動産物件に目が行くこととなる。

— 中国人投資家の手頃な投資資産は中国にはない

中国国内のマンションは北京、上海では東京よりも高く、不動産に関する規制がある上に、土地の個人所有ができない。更には、中国株式市場は飽和状態となっており、投資先のリスク分散からも日本への投資に目が向けられてくる。

### 3. 日本企業への買収も増加傾向にある

—日本の技術、ブランドを買う

フェニックス(スポーツ衣料品)、ラオックス(家電量販店)等

—日本のサービスを買う

静岡県熱海市の老舗温泉旅館「花の館 染井」、山梨県内のホテル・旅館等、中国人は富士山を好むことから、静岡県、山梨県周辺の買収が盛んなようである。

—今後の狙いは百貨店、宝飾品、化粧品、消費者金融

中国人の買収は手当たりしだいというわけではなく、品質の良さ、サービスの良さ等日本人の求めているものとまったく同じ視点から捉えている。

### 4. 中国人観光客の動向

団体観光から個人観光への転換、富士山と温泉の人気が高いことは“癒し”を求めているのか。中国人観光客の日本における傾向である。インバンド政策を基に中国人観光客の取込強化するさなか尖閣諸島での中国漁船の問題が起きたが我々にとって、中国をもっと深く理解する必要がある。中国漁船の問題が起きたが我々にとって、中国をもっと深く理解する必要がある。



## 10月度月例研修会

平成22年10月30日(土) 15:00~17:00

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ 働く人達とメンタル・ヘルスケア

講 師：新見健司 会員

参加者 鶴岡義明、山下恭司、西村 豊、榎田國男、千葉道生、大塚亜喜雄、山田 一

メンタルヘルスとは、心の健康をいいます。社会環境、経済環境が急激に変化している今日、企業内では複雑な人間関係や長時間労働等によるストレスにより、メンタルヘルスに不調をきたす人が増えてきています。経営コンサルタントとしては、財務諸表等企業活動による数値からの分析だけではなく、切り口を違えた手法としてこのメンタルヘルスケアを取り込んでいくのも必要かと考えさせられました。講演内容は以下のようなものでした。

### 1. 働く環境の変化と自殺者の推移

人生の充実期を迎える 50 歳代が自殺者の比率で一番高い結果が出ています。自殺の動機で多い順に (1)健康問題 (2) 経済・生活問題 (3) 家庭問題 (4) 勤務問題となっています。背景として挙げられるのは「不況、倒産、失業」「雇用調整、人員削減」「年功序列の賃金体系崩壊、終身雇用の崩壊」が主なものとなっています。

### 2. 国の取組

国が現在取り組んでいるのは、(1) 自殺・うつ病対策(2) 職場におけるメンタルヘルスケア体制 (3)精神保健医療体制の課題と改革(4)過量服薬への取組等です。従業員 1000 名以上の企業は産業医を置くことが義務付けられていますが、中小・零細企業にあっては費用的、人的問題で対応が遅れているのが現状です。

### 3. 精神病患者の半数がうつ病

精神障害者の半数がうつ病ということが、統計データから明らかになっているようです。企業の経営者、管理者は往々にしてこれに気付かず、気付いた時は企業の評判を大きく傷つけることにもなりかねない。事例としては、得意先から注文したはずの製品が納入されていなくて、生産に大きな障害を起こしているというクレームを受け、担当者に確認すると本人はぶるぶると震えだし顔色が悪くなった。普段から、この担当者には覇気がなく管理者は心配はしていたようです。今回の事件で、本人の立会のもと、机の中を確認したところ得意先からの注文書が多数出てきて、発注処理がされていなかったようです。この後、担当者の配置替えをしたところ、みるみる本人の顔色もよく元気に働いているという事例の説明がありました。

最近では、“心の悩み” が会社経営に大きく響いてくる要因となっているのだということを、改めて認識させられるお話でした。



## 1 1 月度月例研修会

1 1 月度月例研修会は会場都合により中止いたしました。

## ■コンサルティング研究会

### 第2回

平成22年6月20日(日) 15:00~17:00 場 所 船橋市 中央公民館

参加者 近江堅一、林 堯夫、大久保 篤、岩野邦久、近江良和、若月英司

#### 1. 対外活動報告

- (1) (財) 千葉県産業振興センター「ちばネットワーク」へのセミナー開催依頼
- (2) (社) 千葉県経営者協会へのセミナー開催依頼

#### 2. 新規事業（「間違った業績改善策」の小冊子作成）

### 第3回

平成22年7月25日(日) 15:00~18:00 場 所 近江技術士事務所

参加者 近江堅一、大久保 篤、林 堯夫、河井成夫、鶴岡義明、岩野邦久、若月英司

#### 1. 報告事項

- (1) 平成21年度コンサルティング研究会決算報告
- (2) (財) 千葉県産業振興センター「ちばネットワーク」へのセミナー開催依頼

#### 2. 新規事業（「間違った業績改善策（仮題）」の小冊子作成）についての協議

### 第4回

平成22年8月8日(日) 15:00~18:00 場 所 船橋市 中央公民館

参加者 大久保 篤、林 堯夫、河井成夫、岩野邦久、若月英司

#### 1. 新規事業（「間違った業績改善策（仮題）」の小冊子作成）についての協議

新規事業の名称を「社長啓発プロジェクト『間違いを直せば業績は改善する』」とする。

- (1) 案内書についての検討
- (2) 5つの間違いについて、各自持ち寄った解説案を討議

## 第5回

平成22年9月5日(日) 15:00~18:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 大久保 篤、林 堯夫、河井成夫、岩野邦久、若月英司

1. 社長啓発プロジェクト「間違いを直せば業績は改善する」の小冊子作成について協議
  - (1) 案内書についての協議
  - (2) 会社の陥りやすい共通の大きな間違い5つの解説についての協議
  - (3) 今後の取り進め方

## 第6回

平成22年10月17日(日) 15:00~18:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 社長啓発プロジェクト「間違いを直せば業績は改善する」の小冊子配布先・担当の検討

## 第7回

平成22年11月14日(日) 15:00~18:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 小冊子“社長啓発プロジェクト「間違いを直せば業績は改善する」”配布状況報告と協議



## 千葉支部ホームページ リニューアルのお知らせ

千葉支部 副支部長

鈴木 伸一

このたび千葉支部のホームページを大幅にリニューアルいたしました。従来のホームページは県会の延長として千葉支部会員向けの情報提供を中心にしておりましたが、本部から支部へ大幅に事業が移管される中で、ホームページも外部への情報提供と営業開拓を行うことを目的にリニューアルを行いました。

経営士会の改革の一環として本部機能のスリム化と支部への事業移管が進められております。支部体制の強化を行うためには、従来のコンサルタントの集団から一歩進めて、経営士同士の協力しあう関係を構築することが重要と考えております。支部としては、より外部への浸透をはかり、支部独自で営業開拓を可能にするための活動を進めており、各研究会は独自にその道を探っております。ホームページのリニューアルは支部を営業母体として活動するためベースとなるものとして、これらの活動の一環となっております。

今回、支部ホームページを支部の顔として恥ずかしくないものにしようと検討して作成いたしました。まだ構想途中ではございますが、今後皆様のご意見を伺いながら、よりよいものを実現していこうと思っております。ぜひホームページをご覧になって、ご意見、ご希望をお知らせください。

支部ホームページ左側のナビゲーションメニューの下段に、会員専用のリンクがあります。これをクリックしていただくと、会員専用のページへ飛ぶことができます。今後、皆様への情報提供は、基本的な情報はこのページにおいて行いますが、それ以外の動きの激しい情報については、更新のしやすいブログでの提供に切り替えさせていただきます。

ホームページ自体を対外向けの情報やコンテンツを中心に構成しました関係上、皆様への情報提供の場としての利用はブログという形に、若干変更させていただきました。従来のホームページでは修正作業に高度な技術を要するため、限られた人材のみが更新を行うという体制をとって参りました。しかし、より早く、皆様へ情報を提供するには、情報発生源が直接情報を皆様に発信すべきと考えて、リニューアルに合わせて、ブログを採用いたしました。ブログとは、複雑な知識をもたなくても簡単な操作で作成できる、簡易ホームページです。情報発信をブログにすることで、情報発信者を複数立てて即時に情報を発信する体制に移行することが可能になります。これにより、早くホットな情報を皆様に提供することができるようになると思っております。

また、すでに試行させていただいておりますが、皆様へのメールをメーリングリストにより送信させていただいております。メーリングリストとは情報共有のためにつくられる一括送信ができるメールアドレスで、送付先をメーリングリストにすることで、そのメーリングリストに登録されている方全員に同じメールを送信することができます。これによりメールアドレスを知らなくても関連グループの者全員へ情報を送ることができるようになります。

現在、千葉支部会員でメールアドレスを申し出ていただいている方を対象として、メーリングリスト、[member@keieishi-chiba.org](mailto:member@keieishi-chiba.org)をつくっております。このメーリングリストは登録されているメンバーも投稿が可能です。つまりこのメーリングリストからメールが届いている方は、このメールアドレスにメールを送れば、千葉支部会員の大多数の方にメールを届けることができます。相互の連絡にご利用ください。ただし送付するメールは支部会員を対象とするもので、全員に伝えたいものに限らせていただきます。不正メールの送信を行う方がいた場合は、メールの送信を制限させていただく場合もございますので、あらかじめお承知おきください。

社会におけるIT化の流れは押しとどめようもありません。対外的にはホームページでの情報提供の充実を進め、内部的には、情報の提供手段の多様化と高度化を進めることが、今求められております。当然ながら従来の紙媒体での情報提供も、今後とも従前どおり進めてまいります。

今後とも支部の活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

■千葉支部ホームページ

<http://www.keieishi-chiba.org/>

■千葉支部会員向け連絡用ブログ

<http://keieishi-chiba-info.sblo.jp/>

■千葉支部会員向け連絡用メーリングリスト

[member@keieishi-chiba.org](mailto:member@keieishi-chiba.org)

## 訃 報

去る9月5日、我孫子市在住の渡瀬克明会員が、ご自宅で息をお引き取りになりました。享年78歳。多臓器不全とのことでした。渡瀬克明会員は病弱であり、5月より入院されていたとのことですが、最期は自宅での思いで、ご自宅に戻られたそうです。奥様のおはなしでは最後まで支部の活動に参加ができないのを残念がっておられたとのことでした。渡瀬先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

# 農業・観光研究会活動の報告

## ■ 農業・観光研究会

### 第1回

平成22年4月12日(月) 18:30~21:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 山田 一、上條靖芳、千葉道生、小塚彦明、林 久雄、鶴岡義明、西村 豊

1. 千葉県農林水産部担い手支援事業への応札
2. 農商工連携への取り組み

### 第2回

平成22年5月17日(月) 18:30~21:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 高野充昭、山田 一、上條靖芳、千葉道生、林 久雄、鶴岡義明、西村 豊

1. 中小企業応援センター事業について
2. 千葉産業振興センターへのアプローチ

### 第3回

平成22年6月14日(月) 18:30~20:00

場 所 船橋市 中央公民館

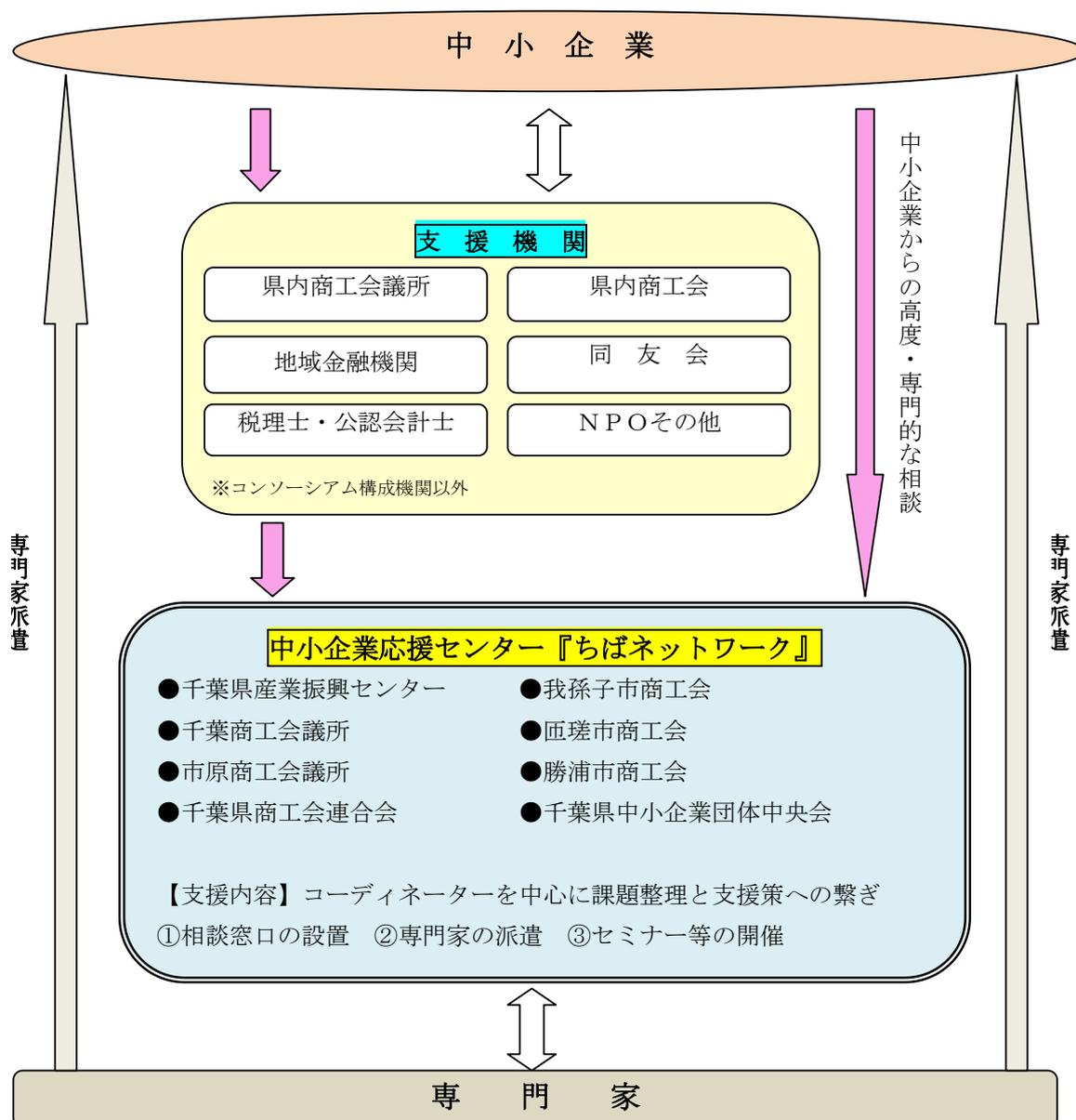
テーマ 中小企業応援センター事業の概要説明

講 師 財団法人千葉県産業振興センター (大野さま、青柳さま)

参加者 農業・観光研究会メンバー 他千葉支部会員有志

<中小企業応援センター事業の概要説明>

財団法人千葉県産業振興センターでは、中小企業の皆様の①新事業展開（経営革新、地域資源活用、農商工等連携、新連携）、②創業、事業再生及び再チャレンジ、③事業承継、④ものづくりの基盤技術の高度化、⑤新たな経営手法（IT活用等）への取組みといった高度・専門的な課題を支援するため、当センターを代表法人とする中小企業支援機関8機関によるコンソーシアムを組織化し、各々に配置するコーディネーターを中心に、相談窓口の開設や専門家派遣、セミナー等を通じた情報提供など、**全て無料**で行っています。



## 千葉県農林水産部担い手支援課のアグリトップランナー育成事業への応募

6月3日(木) 14:00~説明会

6月17日(木) 企画提案書提出

6月28日(月) 応募団体プレゼンテーション (3団体応募)

7月15日(木) 採用見送りの通知受理 (昨年採用された「流通研究所」が2年連続受託)

## 第4回

平成22年7月23日(金) 18:30~21:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 高野充昭、山田 一、上條靖芳、千葉道生、林 久雄、鶴岡義明、西村 豊

全国中央会応札の結果、受託決定の報告と、千葉県農林水産部への応札結果見送りの報告を行う。  
今年度活動を、全国中央会の農商工支援人材育成事業に集中することを確認。

## 第5回

平成22年9月13日(月) 18:30~21:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 高野充昭、山田 一、上條靖芳、千葉道生、林 久雄、鶴岡義明、西村 豊

1. 参加者公募活動の確認
2. テキスト内容の確認と補足資料作成へのルール確認
3. 補足資料の内容確認と講師リハーサル会の実施

## 南房総地区に対する経営士としての地域貢献の模索

平成22年9月2日(木) 10:30~11:00

場 所 衆議院第一議員会館

面談者 石田三示(みつじ)氏(衆議院議員) 秘書 池田勝氏

参加者 鶴岡義明(本部理事) 鈴木伸一(千葉支部副支部長)、山田一(千葉支部副支部長)

### 1. 訪問目的

農業・観光研究会は千葉県に軸足を置き、地域貢献を果たしていく上で、千葉の特徴を考えると農業、水産業、観光を上げることが出来る。この温暖な地で農業と観光に視点を置いた活動がふさわしいであろうとの考えの上で、昨年、千葉支部内に農業・観光研究会が設立された。

農業・観光研究会の活動にあって、南房総の鴨川地区で大山千枚田という棚田の運営に努力され、地域貢献活動から国会議員になった石田議員に会うことはまさしく時宜を得た訪問であったと言える。

この石田議員への面会を通して千葉県の農業と観光の面から、地域貢献の活動があれば是非とも声を掛けて頂き、経営士会千葉支部としてお役に立ちたい旨の申出が主であった。その突破口として、今回、鴨川市の大山千枚田の近くで農場(鴨川自然王国)を経営している芸能人、加藤登紀子氏を紹介して頂き、研究会として見学を兼ね出来れば加藤登紀子氏から、いろいろな意見をお聞きしたい旨の申出をした。

### 2. 主な面談内容

#### (1) 日本経営士会千葉支部の活動の紹介

研究会として「コンサルタント研究会」「農業・観光研究会」の活動内容の紹介。

#### (2) 農業・観光研究会の現在の活動

研究会発足の経緯と現在の活動を紹介。

－10月末より農商工連携人材育成セミナーの開催

－12月6日にはいすみ鉄道鳥塚社長を講師として、千葉県経営者協会と共催で公開講演会の開催  
－千葉商工会議所”ちば産業観光連絡協議会”のメンバーとして千葉商工会議所会員で赤字解消を観光戦略で臨もうとしているJR東日本千葉支社への協力を連絡協議会に提案中。

(3) 石田議員への依頼事項

千葉県南部、南房総は過疎化と高年齢化が急速に進んでいる。このままでは地域は衰退の一途である。

地域の活性化に当たって地場に経営感覚を持って産業化し、地域が潤うことで人口の増加、雇用の増加を計ることへのお手伝いを経営士会千葉支部でさせて頂きたい。そのような問題があれば、声を掛けて頂くべくお願いをした。

(4) 加藤登紀子氏への面談のお願い

加藤氏は年末に向けて忙しくなり、年末は面会が難しそうである。見学に関しては、秘書の池田氏經由鴨川に連絡を取り、可能である。今後のスケジュールに関しては、よく煮詰めて鈴木副部長に労を取って頂き見学実現を図りたい。

2. 主な面談内容

感じとしては、静かで温和な国会議員という印象を得た。面談では私からの一方的な農業と観光に対する思い入れの話であったが、農業者から国会議員になった人物であり、農業を取り巻く情勢に関してはかなり鋭い意見を持たれていた。経営士会千葉支部農業・観光研究会としては鈴木副支部長のお力を借り、秘書の池田氏と接触を深めながら我々の活動の幅を広げていくことが現時点では最良かと判断した。午前10時の面会時間から11時10分を過ぎるまでの長時間を我々日本経営士会千葉支部のために、忙しい中、時間を割いて頂いたことは感謝にたえません。(山田 一)

## 農商工連携等人材育成セミナー開催の報告

全国中小企業団体中央会からの委託事業として日本経営士会が受託した農商工連携等人材育成セミナーが、このたび全国8会場で実施されました。当千葉支部でも千葉会場の開催を本部から委嘱され、先般、すべてのセミナーの実施が終了いたしました。

農商工連携等人材育成セミナーとは、農商工連携のコーディネーターとして活動できる人材を育成するために、国の事業として企画され、全国中央企業団体中央会が実施主体として行っているものです。農商工連携として、農林水産業、中小企業の商工業者が連携して新しい事業を行う場合、補助等が受けられるため、地域産業活性化の柱となることを期待されています。

今回は農商工連携というテーマから農業観光研究会のメンバーを中心として講師を専任し、実施いたしました。千葉支部では、このような事業の受託を今後とも続けてまいります。その際は、広く千葉支部会員に講師を委託すること検討しております。時間的余裕がある場合に限りませんが、講師や委託事業の依頼を行う際に千葉支部会員連絡用ブログやメールリストで周知を行いますので、応募いただければ幸いです。

農商工連携等人材育成セミナーは、30名以上の参加者を集め計13講座24時間と実地研修を開催いたしました。講師は計8名になります。詳しくは下記をご覧ください。

今後ともこのようなセミナー等の委託があれば、支部としても積極的に手を挙げることを考えております。支部会員諸氏の得意分野を持ち寄って盛り上げていければ、支部の活性化にも役立つことと思っております。

ぜひ、月例研修会等の積極的参加により、得意分野のアピールをお願いいたします。

日 程	講 義 の テ ー マ	時間	講 師
第1日 10月31日(日)	①農商工連携の意義と研修のねらい	1.5	高野 充昭
	②農商工等連携事業認定制度とは	1.5	高野 充昭
	③公的支援機関と専門家の機能・役割	3.0	高野 充昭
第2日 11月6日(土)	④農林水産業の動向と課題・対策	1.5	千葉 道夫
	⑤農林水産業と加工技術の応用事例	1.5	千葉 道夫
	⑥中小企業経営の動向と課題・対策	1.5	千葉 道夫
第3日 11月7日(日)	⑦マーケティング戦略と基礎知識	1.5	西村 豊
	⑧商標・知的財産・食品衛生・表示等	1.5	新見 健司
	⑨食品製造業と環境対策	1.5	新見 健司
第4日 11月14日(日)	⑩IT化への対応とシステム構築	1.5	鈴木 伸一
	⑪商品化ナビゲーション	1.5	鈴木 伸一
第5日 11月27日(土)	⑫ロールプレイング/グループワーク1	3.0	山田 一 山下 恭司
	⑬ロールプレイング/グループワーク2	3.0	鈴木 栄治

視察・実施研修 11月21日(日) 埼玉県川越市 11月14日(日) 埼玉県鳩山市

## 財団法人 日本ガス機器検査協会との営業連携

このたび、千葉支部は、財団法人日本ガス機器検査協会との営業業務の委託を受けることを、支部幹事会で決定いたしました。

日本ガス機器検査協会は、ISO9001（品質マネジメントシステム）、ISO14001（環境マネジメントシステム）、ISO22000（食品安全マネジメントシステム）、OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム）等のコンサルティング事業を行っております。当千葉支部の会員がそれらの取得を望む企業を、日本ガス機器検査協会に紹介することで、もしその企業が日本ガス機器検査協会と契約を結んだ場合、契約料の5%のコミッションの支払いを行うというものです。営業活動そのものは日本ガス機器検査協会が行いますので、実際の作業は企業を紹介するだけになります。

契約等の作業を進めておりますので、そのような企業をご存知の方は、ぜひお知らせ願えればと思います。支部を経由する形になりますが、紹介者にコミッションをお渡しすることができます。

詳しくは、山田 一 副支部長（[enshin@js4.so-net.ne.jp](mailto:enshin@js4.so-net.ne.jp)）まで、連絡をお願いいたします。内容の詳細等の説明をいたします。積極的な情報の提供をよろしく願いたします。



## 研修、研究会実施のお知らせ

### ◇月例研修会のご案内

#### 1 月度

日 時 平成 23 年 1 月 2 9 日(土) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

場 所 船橋中央公民館 第 8 集会室

テーマ MPP E 社の新薬開発プロセスと組織マネジメント

講 師 中嶋 清介 会員

支部 MPP を開催いたします。今回のケーステーマはエーザイ株式会社でのアルツハイマー型痴呆症治療薬の開発の事例を参考にして組み立てられたものです。新製品開発の現場に於ける組織運営のあり方、リーダー、管理者が為すべき役割などについて考えて見たいと思います。

#### 2 月度

日 時 平成 23 年 2 月 2 6 日(土) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

場 所 船橋中央公民館 第 6 ・ 第 7 集会室

テーマ 環境問題の原点及び環境と経営の融合(仮題)

講 師 林 久雄 会員

環境問題の専門家、林 会員が環境問題と経営をいかに融合させるかを解説します。ご期待ください。

#### 3 月度

日 時 平成 23 年 3 月 2 6 日(土) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

テーマ : 未定

講師・場所 未定 (決定し次第ホームページに掲載いたします)

### 月例研修会／懇親会(12 月) 出席連絡

(社)日本経営士会 千葉支部

総務担当 鈴木 伸一 宛

Tel : 0 9 0 - 5 4 4 6 - 2 8 0 8

会員氏名 \_\_\_\_\_

Fax : 0 4 - 7 1 3 3 - 1 3 0 3 出席ご希望の方は 1 2 月 1 5 日までにご連絡願います。

出席を次の通り連絡します。(該当欄に出席は○印、欠席は×印をご記入下さい。)

	研修会／講演会	懇 親 会
平成 22 年 1 2 月 1 8 日 出席	参加・不参加	参加・不参加
月例／懇親会		

会場などの急な変更は支部会員向けブログにてお知らせしています。各研修会に出席する際は、支部会員向けブログをご確認の上ご来場ください。 千葉支部会員向けブログ <http://keieishi-chiba-info.sblo.jp/>